

平成29年

火災・救急・救助統計



伊万里・有田消防本部

## はじめに

この統計は、当消防本部が管轄する伊万里市及び有田町における火災・救急・救助の出動に関する状況を収録し、消防行政を広く一般に紹介するとともに、合理的な運営資料とするために編集したものです。

統計資料は、平成29年1月1日から12月31日までの1年の状況を示しています。

本統計により、消防行政に対するご理解を賜り、地域防災の推進に活用していただければ幸いです。

伊万里・有田消防本部

# 目 次

統計の概要（火災・救急・救助）	・・・	1～3
第Ⅰ章 火 災		
第Ⅰ - 1表 平成29年火災概要と前年比較	・・・	4
第Ⅰ - 2表 地区別火災発生状況	・・・	5
第Ⅰ - 3表 地区別月別火災発生状況	・・・	6
第Ⅰ - 4表 月別・曜日別火災発生状況	・・・	7
第Ⅰ - 5表 時刻別火災発生状況	・・・	8
第Ⅰ - 6表 建物用途別火災発生状況	・・・	9
第Ⅰ - 7表 原因別火災発生状況	・・・	10
第Ⅰ - 8表 出火原因別火災発生状況（過去5年間）	・・・	11
第Ⅰ - 9表 伊万里市における過去10年間の火災発生状況	・・・	12
第Ⅰ - 10表 有田町における過去10年間の火災発生状況	・・・	13
第Ⅱ章 救急・救助		
第Ⅱ - 1表 救急出場件数・搬送人員	・・・	14
第Ⅱ - 2表 各町（地区）別救急出場件数・搬送人員	・・・	15
第Ⅱ - 3表 救急出場件数及び搬送人員の推移	・・・	16
第Ⅱ - 4表 年齢区分別・事故種別搬送人員	・・・	17
第Ⅱ - 5表 現場到着までの所要時間	・・・	17
第Ⅱ - 6表 医療機関収容までの所要時間	・・・	17
第Ⅱ - 7表 事故種別・傷病程度及び性別搬送人員の状況	・・・	18
第Ⅱ - 8表 急病に係る疾病分類別・傷病程度別搬送状況	・・・	18
第Ⅱ - 9表 救急隊員が行った応急処置等の状況	・・・	19
第Ⅱ - 10表 地区別種別救助出動件数	・・・	20
第Ⅱ - 11表 地区別種別救助人員	・・・	20
第Ⅱ - 12表 救助活動の状況（過去5年間）	・・・	21

# 火 災

## 火災の現況

平成29年中の管内における火災発生件数は、伊万里市32件、有田町6件の合計38件（23件）であり、昨年より15件の増加となりました。

### 1 発生状況

火災種別の内訳は、建物火災17件（14件）、その他の火災12件（7件）、林野火災6件（1件）、車両火災3件（0件）、船舶火災0件（1件）、航空機火災0件（0件）となっています。

### 2 出火原因

火災件数38件を出火原因別にみると、「その他…9件」、「火入れ…7件」、「不明・調査中…6件」、「電灯・電話等の配線…3件」の順となっています。

### 3 損害額

火災による損害額は1億781万3千円（1億3,112万9千円）で、前年と比較し、2,331万6千円の減少となりました。

### 4 建物焼損状況及び焼損程度

建物火災の件数は17件（14件）で、焼損棟数は23棟（18棟）、焼損面積は1,360㎡（1,033㎡）で、前年と比較し焼損棟数及び焼損面積とも増加しています。

### 5 り災世帯・り災人員

り災世帯数は15世帯（10世帯）、り災人員33人（41人）で前年と比較し、り災世帯数は増加し、り災人員は減少しています。

### 6 死傷者の発生状況

火災による死者は0人（1人）、負傷者は6人（8人）で前年と比較し、死者・負傷者ともに減少しています。

※（ ）内の数字は、前年（平成28年中）の数字を表します。

# 救 急

## 救急の現況

消防機関の行う救急業務は昭和38年に法制化され、伊万里市で昭和41年9月、有田町では昭和46年11月に救急業務を開始して以来、住民の生命・身体を守る上で不可欠な業務として定着しています。年々、その体制は整備され、平成30年4月から新たに、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与など高度な処置が追加されます。これにより、更なる救命の効果が期待できます。

このような状況の中、当消防本部では、より質の高い救急業務を実施するため救急症例検討会や地域医療機関での実習を実施し、また、傷病者の病態に応じた適切な救急搬送と地域医療機関の受け入れ体制の構築を図るため、消防機関や医療機関等で構成するメディカルコントロール協議会等を活用し、病院前救護体制の充実を図っています。

### 1 出場件数・搬送人員

平成29年中における伊万里市・有田町の救急出場件数は、3,530件（前年3,432件）、搬送人員は3,309人（前年3,214人）となり、出場件数で98件の増、搬送人員で95人の増となりました。両市町の人口でみると約23人に1人が救急搬送されたこととなります。

### 2 事故種別

出場内容を種別で見ると、急病によるものが54.4%と全体の半数以上を占め、次に転院搬送が19.0%、一般負傷14.8%の順になっています。

### 3 年齢別

搬送された人の年齢別では、65歳以上の高齢の方の占める割合が62.3%と最も高くなっています。

### 4 傷病程度別

搬送人員を傷病程度別で区分すると、中等症が49.5%、軽症が29.7%、重症が19.3%、初診時死亡が1.4%の順となっています。約3分の1が軽症であり、救急車の適正な利用が求められます。

### 5 ドクターヘリ

重症で緊急性の高い傷病者を、三次救急医療機関(救命救急センター)などへ42件搬送しました。【交通事故15件・転院搬送6件・急病7件・一般負傷9件・労働災害2件・自損行為1件・運動競技1件・火災1件】

# 救 助

## 救助の現況

災害が複雑多様化、大規模化の傾向にあるなか、救助活動は、火災・交通事故・水難事故などの各種災害から大規模風水害、NBC災害などの特殊災害まで広範囲に及んでいます。これらの災害発生に迅速・的確に対応するため、各種救助資器材の計画的な整備及び救助隊員の資格者の充足と救助に関する教育訓練体制の充実に努めています。

### 1 出動件数・救助人員

平成 29 年は 54 件救助出動し、28 名の要救助者を救助しています。

### 2 事故種別

救助出動における事故種別の割合（件数）は、交通事故が 64.8%（35 件）と全体の半数以上を占め、次にその他の事故が 20.3%（11 件）、水難事故が 7.4%（4 件）、機械による事故が 5.5%（3 件）、ガス及び酸欠事故 1.8%（1 件）の順となっています。